

平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

カザフスタン共和国 北カスピ海沖合鉦区 カシャガン油田からの
原油出荷開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）が子会社のインペックス北カスピ海石油株式会社を通じて参加権益を保有するカザフスタン共和国北カスピ海沖合鉦区（以下、本鉦区）内のカシャガン油田（以下、本油田）について、本年 10 月 13 日に陸上プラントから原油の出荷を開始しましたので、お知らせいたします。



カシャガン油田生産施設

本油田は、カザフスタン共和国アティラウ州の州都アティラウの南東約 75km、水深 3～5m の浅海の海底下 4,200m に位置しており、原始埋蔵量で 350 億バレルの原油を有し、また油田規模も縦横 75km x 45km と世界でも有数の巨大油田です。

国際石油開発帝石株式会社 INPEX CORPORATION



鉦区位置図

今回の本油田からの生産は、第一次開発分として開発・生産されるものであり、今後、安全面に配慮しながら 2017 年にかけて生産量を段階的に日量 37 万バレルまで引き上げていく計画です（ただし、2017 年の平均生産量は日量 37 万バレルより低い生産量を予定しています）。

また、本鉦区では、本油田のほかにカラムカス、アクトテ及びカイラン 3 つの既発見未開発構造を確認しており、今後の開発を見据えて評価作業を実施中です。

当社は、今後もプロジェクトパートナーと協力しつつ、本油田を始めとする本鉦区における石油開発事業に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による当期業績への影響については軽微であり、平成 28 年 8 月 4 日発表の平成 29 年 3 月期第 1 四半期決算短信に記載の平成 29 年 3 月期連結通期業績予想の数値に既に織り込み済みです。

以上

<参考情報>

1. カシヤガン油田の概要

油田位置	カザフスタン共和国アティラウ州 アティラウ南東約 75km														
水深	水深 3～5m														
埋蔵量	■ 原始埋蔵量 原油 350 億バレル														
原油生産量	カシヤガン油田では段階的な油田開発が計画され、第一段階開発として日量 37 万（ピーク）バレルを生産ターゲットとしている														
参加権益比率	<table> <tr> <td>インペックス北カスピ海石油株式会社</td> <td>7.56%</td> </tr> <tr> <td>KMG（カザフスタン）</td> <td>16.87%</td> </tr> <tr> <td>Eni（伊）</td> <td>16.81%</td> </tr> <tr> <td>ExxonMobil（米）</td> <td>16.81%</td> </tr> <tr> <td>Shell（英）</td> <td>16.81%</td> </tr> <tr> <td>TOTAL（仏）</td> <td>16.81%</td> </tr> <tr> <td>CNPC（中）</td> <td>8.33%</td> </tr> </table> <p>（注）オペレーターは、全コントラクターから構成される操業会社である North Caspian Operating Company（NCOC）が担っている</p>	インペックス北カスピ海石油株式会社	7.56%	KMG（カザフスタン）	16.87%	Eni（伊）	16.81%	ExxonMobil（米）	16.81%	Shell（英）	16.81%	TOTAL（仏）	16.81%	CNPC（中）	8.33%
インペックス北カスピ海石油株式会社	7.56%														
KMG（カザフスタン）	16.87%														
Eni（伊）	16.81%														
ExxonMobil（米）	16.81%														
Shell（英）	16.81%														
TOTAL（仏）	16.81%														
CNPC（中）	8.33%														